

花ちゃん、オー君、モンタ博士のわくわくドキドキ冒険記4

国立市立国立第七小学校

平成28年12月16日 NO.77 (377)

花ちゃん 「モンタ博士、鳥の形や姿勢のちがいは、とてもよくわかりました。さっそく、
オー君とバードウォッチングに行ってきました。」

オー君 「鳥の形や姿勢のちがいは、今まで気がつかなかったな。」

花ちゃん 「これからも、鳥のことをもっともっと知りたいわね、オー君。」

オー君 「ぼくもバードウォッチングにはまりました。観察ポイント3というのは
あるんですか、モンタ博士。」

モンタ博士 「あるよ、あるよ、いっぱいあるけどね。ゆっくりとお話ししようね。
ところで、スズメのことだけど…」

オー君 「え、スズメですか。ぼく、スズメは知っているから他の鳥を知りたいな。」

モンタ博士 「スズメとって、ばかにしてはいけませんよ。それじゃ、オー君に聞くけど、
スズメの歩き方はどんなかな。知っているかな。」

オー君 「そういえば、歩き方はわからないな。」

花ちゃん 「モンタ博士、ポイント3というのは、歩き方やうごきということですね。」

モンタ博士 「そのとおり。歩き方や動きも大切なポイントなんだ。あれ、オー君がいない。」
ということで、オー君は、スズメをさがしに庭にすっとなで行ったとき……。



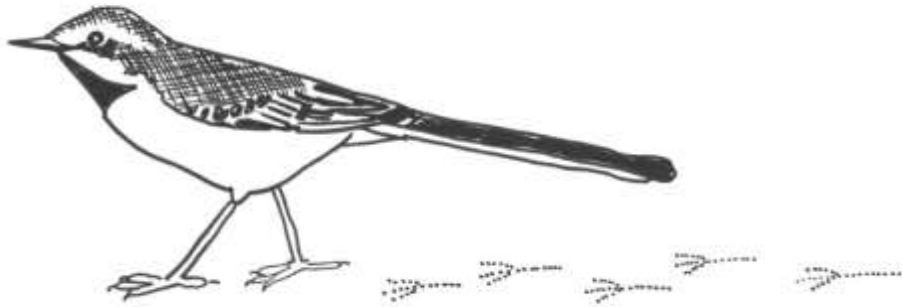
オー君 「花ちゃん。大発見だ。スズメは両足いっしょにはねていたよ。」

花ちゃん 「そういうのをホッピングというのよ。この本に書いてあるわよ。」

オー君 「え！何それ。ぼくにも見せて！『鳥の図鑑』か。ぼくもほしいな。」

モンタ博士「そうだね。本ほんを買うのはいいね。ゲームソフトなんかより、ずっと安くするために。一冊いちさつ買ってあげば、いつでも見みられるもんね。」

花ちゃん「ホッピングとはちがって、人間にんげんと同じように、左右さゆうの足を出だして歩あるく鳥とりもいると書いてあるわ。**ウオーキング**というそうよ。」



オー君「どんな鳥とりがどんな歩あるき方かたをするか、花ちゃん、いっしょに見みに行いこう。」

モンタ博士「ついでに、カラスがどんな歩あるき方かたをするか見みておいで。気きをつけてね。」

しばらくすると、二人はブーブーけんかしながら帰かえってきたそうなの・・・。

オー君「カラスは、ぜったいに**ホッピング**していた。」

花ちゃん「カラスは、ぜったいに**ウオーキング**していた。」

モンタ博士「ねえねえ、けんかはだめだよ。仲良なかよくしよう。あのね、カラスの歩あるき方かたはね、ホッピングもウオーキングもどっちもするんだよ。」

オー君「ほんと。そうですか。それじゃ、二人とも正解せいがいということですね。」

花ちゃん「仲直なかなおりしよう。オー君！さっきはごめんなさいね。」

オー君「ぼくもごめんね。これで、スズメやカラスの歩あるき方かたは分わかったね。」

モンタ博士「おととと、ちょっと待まった。あのね。鳥とりの歩あるき方かたや名な前まえを覚おぼえた。また、虫むしや植しょくぶつ物ぶつの名前なまえが分わかった。それはそれでいいことだけどね、それだけではちよっともったいないね。それがどういいう意味いみがあるかを深ふかく考かんがえることがもっと大切たいせつなんだよ。それが科学かがくするということなんだ。歩あるくことことが多い鳥おほとりは**ウオーキング**がとくいで、木きの上うえによくいる鳥とりなどは、**ホッピング**がとくいとはいえないかな。そうやっていろいろ考かんがえて観かん察さつするたのと楽しくなるよ。鳥とりの動うごきについてのお話はなしもしようと思おもったけど、また今こんど度にしようね。」

オー君「わかりました。次の『国立てくてく4』を、楽たのしみにしています。」